

立川基地跡地昭島地区

公園等整備計画ワークショップニュース

平成24年5月9日 Vol. 4

第4回のワークショップ（以下「WS」と書きます。）は、4月22日（日）に富士見会館第1集会室で開催しました。

今回は、前回のWSでグループごとにまとめ上げたキャッチコピーの姿を念頭に置きながら、公園又は緑道の平面図（白図）を使って、利用者の動線を意識したゾーニングを考え、最後に必要な機能（施設）等の配置計画を作成しました。

また、グループ検討に先立ち、WSメンバーからオブザーバーメンバーである整備主体（法務省・UR）の職員も検討への参加を希望するといった意見が出されました。WSメンバーが主体となって検討を行う中、オブザーバーメンバーも各グループの検討状況を見ながら、施設や整備内容についての確認や助言を行いました。

第4回WSのプログラム

○開会

- ・挨拶
- ・本日の予定の説明等

○法務省施設のボリューム確認

○前回のWSの振り返り

○配置計画をグループで検討

- ・ゾーニング
- ・動線
- ・配置計画

○発表・質疑応答

○まとめ

○閉会

《今回の作業内容》

前回検討したキャッチコピーの姿を念頭にゾーニング（配置計画）を考える。

【法務省施設のボリューム確認】

検討に先立って、以前にWSメンバーから要望のあった法務省施設のボリュームをつかむため、CG（コンピュータグラフィック）による建物イメージの紹介がありました。

※今後の進め方についてのメンバーからの意見

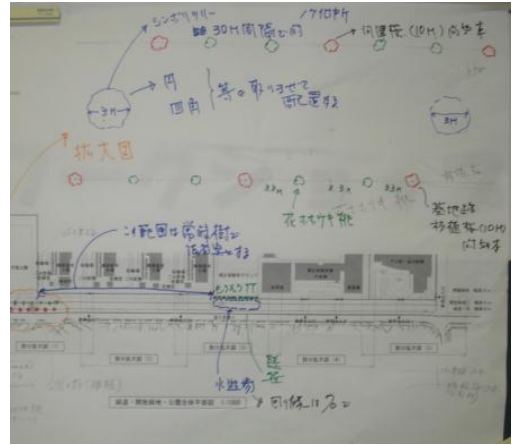
- 法務省やURも検討に参加してほしい。
⇒主体はWSメンバー。検討の様子を見守り、必要に応じて意見等を言う。
- 検討回数を増やしてほしい。
⇒設計スケジュールの都合もあり、WSとしての検討は、6月24日の最終回を目指す。必要であれば、次回のWS後に臨時開催等も有り得る。



【配置計画をグループ検討】

緑道グループ

- ・ 構造物や標識を設け、自転車が緑道に入らないようにする。
- ・ 8mの緑道には跡地の桜を、開放緑地には河津桜を、10m間隔で植栽し、それぞれの桜の樹間には紅白のほうき桃を植える。
- ・ いろいろな色のインターロッキングを曲線的に敷き詰め、30m～50m置きにベンチをおいて休憩できるようにする。
- ・ 開放緑地には、盛り土で傾斜を付け、子どもたちが遊べるようにし、低木を植え、法務省施設側は常緑樹を植え、向こう側が見えないようにする。
- ・ 研修グラウンド前には、せせらぎを設け、子どもたちが水遊びできるようにする。



公園1グループ



- ・ 子どもたちが遊べるアスレチック広場
- ・ 地下水を使った上砂公園にあるような親水施設
- ・ シンボルツリーを設け、子どもから大人までのんびりと過ごせる公園
- ・ 法務省宿舍横は、スポーツとお祭りができる広場
- ・ ちょっとした遊具がある幼児広場
- ・ 富士見通りの西から北側へ行ける園路
- ・ 矯正施設との間は、目隠しとなる樹木を植栽
- ・ 東屋、花畑、トイレ、水場、駐車場と駐輪場など

公園2グループ

基本を林として、随所にベンチや東屋を置き、憩いのゾーンとする。

- ・ 記念公園玉川上水口に抜けられる園路を設ける。
- ・ 北西部の三角地には備蓄倉庫を確保する。
- ・ 法務省宿舍横は、夏祭りやゲートボール、子どもたちが思いっきり遊べるような自由広場にする。



今後のWSの開催予定

開催日	内容等
第5回 5.20	計画図の再確認 意見交換・発表 方向性の確認
第6回 6.24	検討結果の再確認 最終案確定・発表

次回は … 平成24年5月20日（日）午後2時から
富士見会館 第2・第3集会室 で行います。